

## 審議会等議事概要

令和5年度 第1回 滝川市国民健康保険運営協議会 議事概要

日 時	令和5年8月31日（木曜日）午後6時00分～午後7時00分
開催場所	滝川市役所5階 庁議室
出席者	委 員：池田委員、南博委員、本川委員、南登委員、外山委員、向井委員、直江委員、岩橋委員 事務局等：前田市長、浦川市民生活部長兼理事、寺嶋保険医療課長、大橋課長補佐、谷内主任級主事
議 事	<p>1 開 会</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>3 市長挨拶</p> <p>4 議事録署名委員の選出 議事録署名委員 岩橋委員</p> <p>5 議 題</p> <p>(1) 令和4年度国民健康保険特別会計決算について ① 資料説明 事務局より、会議資料「(1) 令和4年度国民健康保険特別会計決算について」に基づき説明した。 ② 質疑 委 員 2 収納率について、国民健康保険税滞納繰越分の収納率は19.77%との事だが、対象件数はどの程度なのか。 事務局 対象件数を把握していないが、次回会議までに集計できれば報告する。</p> <p>(2) 令和4年度国民健康保険事業状況について ① 資料説明 事務局より、会議資料「(2) 令和4年度国民健康保険事業状況について」に基づき説明した。 ② 質疑 委 員 6 出産育児一時金支給状況について、支給件数が9件となっているが、国民健康保険加入者の件数なのか。</p>

事務局 お見込みのとおり。

委 員 8(1)特定健康診査未受診者対策について、民間委託によるナッジ理論を活用した個別勧奨通知を実施したとの事だがどのような内容なのか。

事務局 ナッジ理論とは、小さなきっかけを与えて人の行動や意識を変える戦略。具体的には一律の勧奨通知ではなく、データ分析から得た健康特性に基づき、対象者ごとの未受診理由に応じた個別内容のハガキを送付している。

委 員 8(1)特定健康診査未受診者対策について、ナッジ理論を活用した個別勧奨通知を実施しているとのことだがその結果はどのように分析しているのか。

事務局 委託業者からの報告によると、新型コロナウイルス感染症流行を背景に継続受診者が受診を控える傾向にあったが、不定期受診者481人、新規受診者246人の受診につながったことから一定の成果があったものと認識している。

委 員 8(2)41歳対象特定健康診査・がん検診受診率向上キャンペーンだが、令和3年度受診件数37件のうち肺がん検診は26件に対し、令和4年度受診件数21件のうち肺がん検診7件と件数に大きな変動があるがこのような傾向にあるのか。

事務局 対象者は無料でがん検診を受診できることから全て受診していた大いに勧奨しているが、受診は任意であるため年度によって件数に変動がある（令和2年度受診件数19件のうち肺がん検診5件）。

委 員 8(3)脳ドック費用助成事業について、定員が令和3年度と同じ70人となっているが、増員できなかった理由はあるのか。

事務局 申請者が70人を超えていたため、医療機関に増員のお願いをしているところだが、滝川市の国民健康保険以外の保険者からも受け入れているため増員が難しい状況となっている。

### (3) その他

#### ① 資料説明

事務局より、会議資料「(3) その他」に基づき説明した。

口頭報告 マイナンバーカードを健康保険証として利用するために必要な紐付け処理の際に、誤って別人の情報と紐付けられていた事案が全国的にあったが、滝川市の国民健康保険において紐付け誤りは今のところない。

滝川市全体のマイナンバーカードの保有枚数率は、6月末現在で71.8%、滝川市の国民健康保険の保険証利用登録率は、7月末現在で57.0%となっている。

	<p>② 質疑</p> <p>委 員 滝川市においてマイナンバーカードの返納はあったか。</p> <p>事務局 今のところ確認されていない。</p> <p>委 員 マイナンバーカードの紐付け誤りがなければ個人情報が流出する危険性はないが、健康保険証として利用するだけで個人情報が流出するという誤った認識をされている方が少なくない。広報においてわかりやすく説明し、普及促進につなげて欲しい。</p> <p>事務局 検討させていただく。</p>
会議資料	<p>(1) 令和4年度国民健康保険特別会計決算について</p> <p>(2) 令和4年度国民健康保険事業状況について</p> <p>(3) その他</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響による国民健康保険税減免について</p> <p>○新型コロナウイルス感染症に係る傷病手当金の支給について</p> <p>○産前産後期間の国民健康保険税免除について</p>